

武の聖地と錦秋の日光

大会後の親睦バスツアーも回を重ねて、最近では行先の選定が幹事の悩みの種。今年では基本に戻って武道のルーツである香取・鹿島の二神宮と、リニューアルなった日光東照宮への参拝を軸に、日光江戸村や華厳の滝を加えたダイナミックな企画となった。

十月三十日早朝、仕事に急ぐ勤め人の波をよそに、前夜の打ち上げパーティーの余韻が残る面々は鶴見に集合。一夜明ければ、大会当日の荒天が嘘のような秋晴れの中、一行は和気あいあいと出発した。いつもなら即く景気付けにビールを回すところだが、さすがに酒気帯びて二神宮にお参りするのはまずかろうと一同神妙に我慢、ガマン。



まだ昼前とあって静かな門前の茶店通りを抜けると、うっそうと杉が生い茂る神域・香取の森に、武神を祀る社殿が佇む。みな神妙な面持ちで武運長久を祈念した。続いて向かった香取神宮は、趣きががらりと変わり、神武天皇元年（紀元前六百六十年）創建と伝えられる広大な境内は、そこに歴史の重みを感じさせる社殿や巨木が散見される。たまたま宝物殿では刀剣展が催されており、日本最古最大の直刀（金銅黒漆平文拵・附刀唐櫃）の他、名刀の数々を拝見できた。抜刀屋向きのアトラクションがてんこ盛りの日光江戸村を駆け足で楽しんだ一行は、一路今夜の宿へ。「あさや」は、鬼怒川温泉でも屈指の規模と、百三十年の伝統に裏打ちされたサービスを誇る老舗旅館で、期待に胸が膨らむ。

翌日も、風はいささか強いが快晴の中、東照宮に詣で、紅葉も盛りのはらは坂から華厳の滝へ。私たちが目指す道のごとく、まっすぐ轟き落ちる勇壮な曝流に、思わず息をのんだ。



◆連絡事項

平成三十年度の国際拔刀道連盟役員総会は、四月十五日（日）午前十時の開催予定です。会場などの詳細は、後日郵送の案内書をご覧ください。

また第二十一回の全国大会は、十月二十八日（日）鶴見スポーツセンターで開催の予定です。

《編集後記》

大会が無事に終わると瞬間に師走に突入。忘年会やクリスマスなどのイベントに追われているうちに早や武道納めです。会員の皆様にはどのような一年でしたか？

「剣魂」もみなさまのご協力無しに第八号の発行にこぎつけました。心から御礼申し上げます。

来る平成三十年が、皆様にとりまして幸多き年になりますように。

（高橋 記）

《連絡先》

国際拔刀道連盟
事務局長 中村憲三
〒331-0823
埼玉県さいたま市北区日進町 1-57-6
☎090-9205-1105

または
会報編集係 高橋淳一
Jun4taka@gmail.com